

五観中だより

広島市立五日市観音中学校『学校通信』第10号(新年号)
平成22年1月8日 発行

【正門前「校訓」碑】



こけつ い こじ え トラ 虎穴に入らずんば虎児を得ず...「虎イ = TRY」の年に

「虎穴に入らずんば...」は、「危険を冒さなければ立派な成果はあげられない」という意味です。危険を冒してまでとはいかなくても、勇氣とやる気と根気を持って、前向きに立てた目標にしっかりと挑んでいってほしいものです。今年初めて全校生徒がそろった昨日の生徒会新執行部認証式の中で、会長に任命された宮迫由佳さんも、「このメンバーで、何事にも挑戦していきたいと思います。」と、力強く決意表明していました。

できるかできないかを考えるのではなく、やるかやらないかが肝心です。

また校長先生は、年頭にあって、「これからの3か月は、学年の上がる4月によいスタートをきるために、先(目標)を見すえて十分な準備ができるよう、時間を大切にして過ごしましょう。」というお話をされました。

「一年の計は元旦にあり」と言います。正月をなんとなく過ごしてしまった人もいでしょうが、今からでもまだ遅くはありません。生徒の皆さんも先生たちも、個々に目標を掲げ、自分自身の成長と五観中の発展を成し遂げられる一年にしていきたいものです。

こしたんたん 虎視眈々ととは...?

虎が鋭い目つきで獲物を狙っているように、油断なく機会を狙っている様子をさします。3年生の皆さんは、年末に進路希望を確定し、出願手続きを進めているところです。残され日々、最後の最後まで、鋭い眼差して油断なく授業や面接練習などに臨みましょう。

生徒の皆さん 今年をどんな一年にしたいですか。自分なりに前向きな目標をかかげいろいろなことに挑戦していきましょう。十代というのは、学力・体力・精神力といったさまざまな能力が、最も伸びる(成長する)時期です。だから、何事にも積極的に取り組み、自分を磨くべき時期であると言えます。自分を鍛えてみてください。

平成二十一年一月八日
広島市立五日市観音中学校 教職員一同



新年明けましておめでとうです。

「言語技術」が日本のサッカーを変える

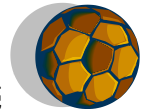
～瞬時に判断し、相手に伝える！「ピッチの外」のトレーニング革命～

— 日本サッカー協会(JFA)専務理事 田嶋幸三 —

情報分析力

思考判断力

表現伝達力



広島観音高校イレブンは、昨年の広島皆実高校に続く全国選手権大会県勢連覇を惜しくも逃しましたが、「自分たちで考える」サッカーに取り組み、同大会での県勢5年連続ベスト8進出を成し遂げました。今年2010年は、世界最大級のスポーツイベントといわれるワールドカップサッカーの開催年です。日本代表が、どのような戦いぶりを見せてくれるか楽しみです。

ところで、日本サッカー協会の田嶋氏は、次のようなことを言っています。ヨーロッパで様々な国のジュニア選手が集って練習をしていた時のこと、ミスが出て指導者がゲームを止めると、強豪国の子どもたちは、自分のプレイの意図をお互いに主張し合う。主張し合うことで、コミュニケーション不足であったことは露呈するが、相手を理解し、プレイの幅が広がっていくそうです。ところが、日本の選手は主張し合わず指導者に正解を求めるから、問題点は解決されず、ゲームメイクもふくらんでいかなそう。サッカーは、「唯一の正解」しか無いスポーツではなく、瞬時の状況判断で、自分の意思を伝え合いながら進めていく組織的なスポーツです。田嶋氏は、伝え合うにはどうしても「言語技術」を鍛える必要があると痛感したそうです。ピッチ上でのゲーム中、瞬時に論理的に伝える時間はありません。だから、練習や試合前後のミーティングにおいて、明確な根拠をあげながら、筋道立てて確実に自分の考えを相手に伝えることをくり返すことで、チーム(組織)としてのプレイの精度を上げていくことに取り組んでおられます。余談ですが、海外で活躍するプロ選手の中にも、「意思疎通が図れないから、もう少し“ことば”を勉強してくれ。」と日本へ返された選手もいるのだそうです。

さて、広島市の公立学校では、「ひろしま型カリキュラム」の目玉として、平成22年度から「言語数理運用科」の授業が年間35時間組まれます。本校では、今年度すでに試験的に15時間組みました。この学習では、目的や意図に応じて必要な情報を取り出す力、筋道を立てて論理的に考え判断する力、目的や意図、場面や相手に応じて自らの立場や根拠を明確にしなが論理的に表現する力、以上3つの力を育てることを目標としています。これは、まさに日本サッカー協会が選手に求めているものです。これから本格的に始まる「言語・数理運用科」は、特別なものではなく、あらゆる学習・生活場面において必要になっていく力を養わんとするものであると考えていいでしょう。平成24年度から施行される『新学習指導要領』でも、「言語活動の充実」を全教科で図ることが、「生きる力」を育てるための柱の一つに位置づけられています。

最後に、田嶋氏は、子どもの「微妙...」とか「別に...」といった回答の仕方は、思考の放棄であり、それ以上、何も言わなくても済んでしまうという危惧されています。また、学校だけでなく、家庭や社会でも「ことばの教育」を実践していけば、子どもが本当に自立することができると思っています。



グラウンド改修工事開始...現在、夜間照明施設も取り外し修理中

昨年末にお知らせしましたが、グラウンド全面改修工事(二期二年間の計画)の一期目が始まりしました。改修工事期間中はもちろん、改修工事終了後は、グラウンドへの車の乗り入れができなくなります。したがって、今後、卒業式・入学式、その他の行事で、グラウンドを駐車場として確保できなくなり、ご不便をおかけすることとなりますが、何卒、ご理解・ご協力の程よろしく申し上げます。



学校図書館ボランティアを募集します

来年度から、学校の図書館担当教員と学校図書館ボランティアの方とで連携を図りながら、平日の昼間(昼休憩と放課後)に図書館を開館して、図書館の活性化を推進していきます。より多くの生徒がより多くの機会、本にふれることができる環境を整備し、生徒の視野を広げていきたいと考えています。

お問い合わせは...

921-3851

五日市観音中学校

教頭 西信または

主幹教諭 三宅 まで